

# 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金を活用した 長岡市の取組について

令和5年2月28日

令和4年度 雪国の安全・安心な地域づくりを考える活動報告会

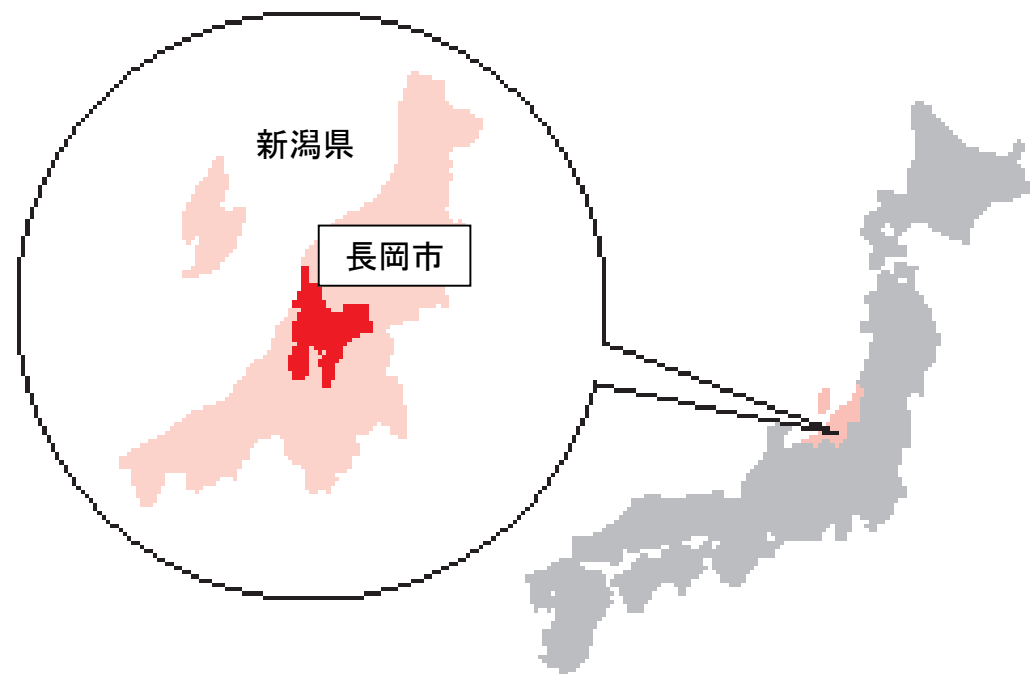
新潟県長岡市 地域振興戦略部 稲川 美沙子

# 1. 新潟県長岡市について



長岡市は、新潟県の中央に位置し、市内の中央を南北に日本一の大河「信濃川」が流れる新潟県第2の都市です。

また、「平成の大合併」と「新潟県中越地震」、2つの大きな事象を同時に経験した都市でもあります。



人口	新潟県	(推計) 214.7万人
	長岡市	26.1万人
面積	新潟県	12,583.48km <sup>2</sup>
	長岡市	891.06km <sup>2</sup>

(令和5年1月1日現在)

# 1. 新潟県長岡市について

長岡市は、米百俵の精神を受け継ぐひとづくりや、市民協働によるまちづくりを進めています。

◆屋根付広場とアリーナ、市役所が一体となったシティホールプラザ「アオーレ長岡」

◆日本初の「子育ての駅」（雨の日でも遊べる屋根付き広場と、子育て支援施設を一体的に整備）

◆世界平和や復興のシンボル「長岡花火」の映画化など

**都市のブランド力を高めるオンリーワンの「長岡モデル」が次々と生まれています。**

また、昭和36年、全国で初めて道路に消雪パイプを設置したのが長岡市でもあり、早くから除雪対策に力を入れています。



▲シティホールプラザ「アオーレ長岡」



▲復興祈願花火「フェニックス」



▲消雪パイプ

# 1. 新潟県長岡市について

同じ長岡市でも、海沿いと山沿いでは積雪の状況が異なります。

山沿いの集落は少子高齢化の影響で担い手不足が顕著であり、早急な対策が必要です。（写真は令和5年1月の様子）



### 海沿いの様子



### 山沿いの集落の様子

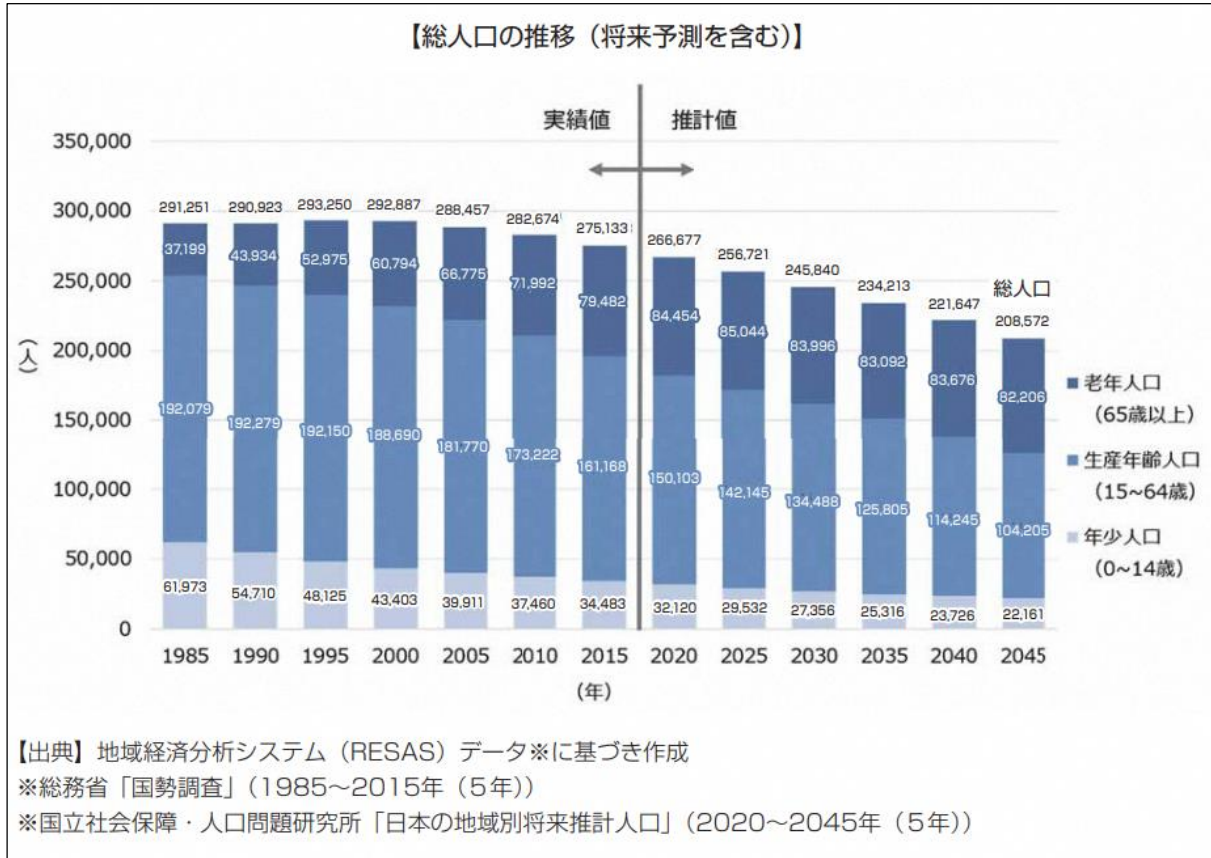


凡例

-  長岡市における豪雪地帯
-  長岡市における特別豪雪地帯

## 2. 長岡市の現況

### ＜総人口・年齢3区分人口の推移＞

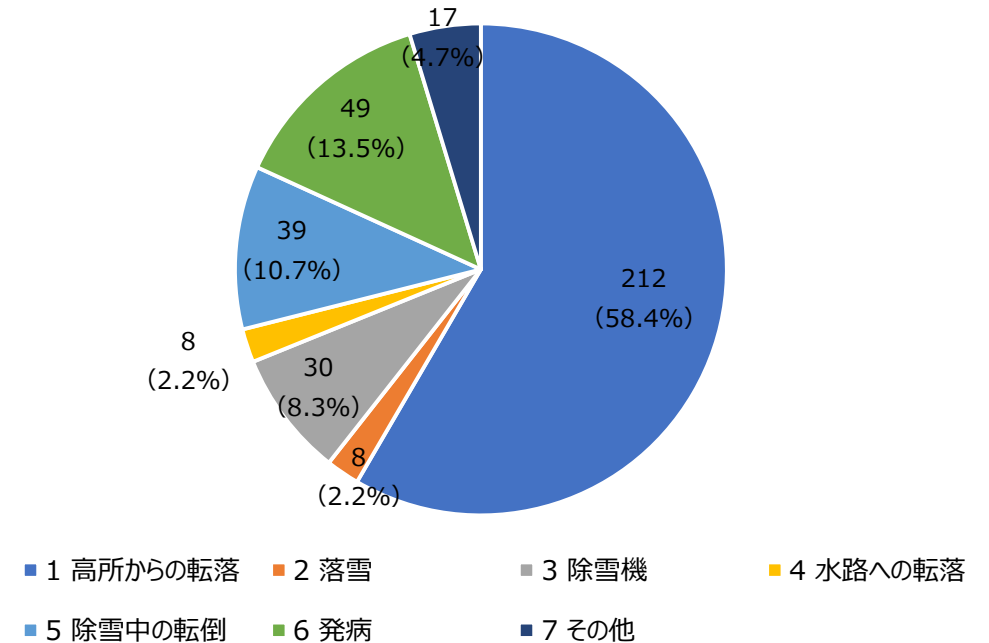


出典：第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略／人口ビジョン，令和2年3月，長岡市

### ＜除雪作業事故の状況＞

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
1 死亡	3	2		1			3			4	3	16
2 重傷	30	9		3	6	7	55	4		42	17	173
3 軽傷	31	27	5	26	11	4	27	4	1	28	10	174
合計	64	38	5	30	17	11	85	8	1	74	30	363

### 原因別死傷者数（H23～R3）



### 3. 民地除雪に関するこれまでの取組

- **要援護世帯除雪費助成事業**（制度開始：昭和58年度～）  
除雪ができない要援護世帯に除雪費用の一部を補助（上限額1万9千円×3～4回が基本）
- **克雪すまいづくり支援事業**（制度開始：平成6年度～、※一部地域のみ）  
克雪住宅（融雪式、落雪式、耐雪式）建設費用の一部を補助（上限額33～55万円）
- **集落対策支援事業補助金**（制度開始：平成30年度～） ※一部地域のみ  
共助組織の除雪活動に必要な用具（スコップ、ヘルメット等）費用を補助（上限10万円）
- **屋根雪下ろし命綱固定アンカー設置費補助金**（制度開始：令和3年度～）  
転落防止安全対策設備の設置工事費用の一部を補助（上限額5～10万円）

## 4. 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金事業の進捗状況

### ◎長岡市地域安全克雪方針策定に向けた動き

#### 【令和4年度】

R4年6月

- 第1回有識者会議を開催

R4年10月

- 3か所で地域懇談会を開催

R4年12月

- 第2回有識者会議を開催

R5年3月

- 第3回有識者会議を開催
- 地域安全克雪方針（案）作成

●令和5年度の動き

今年度と同様に有識者会議を開催し、方針を策定する予定です。

安全克雪事業の実施

#### 【有識者会議と地域懇談会】

現状と課題を認識し、安心安全に向けた取組等を検討するため、2つの会を開催した。

##### 【有識者会議】

雪下ろし事業者や雪・防災の研究・実践者、除雪の担い手など各分野の有識者でメンバーを構成。

##### （主な意見）

- それぞれの主体の取組を組み合わせる「雪かきのベストミックス」という考え方が重要。
- モデル地域を選定して、アンカー設置を進められないか。

##### 【地域懇談会】

異なる体制で活動している3つ地域を選定。

##### （主な意見）

- 日々の除雪まで手が回らない。
- 除雪の担い手は欲しいが、経験がない人は不安。

## 4. 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金事業の進捗状況

### ◎ 死傷事故の防止に向けた試行的取組（安全克雪事業）【令和4年度】

#### ● 除雪共助組織活動への支援

共助組織の除雪活動に必要な小型除雪機購入費用の一部を補助  
補助対象経費の2/3、上限20万円

補助実績は4団体

#### ● 除雪有償ブースター制度（YUBO）強化への支援

山古志地域のNPO法人が推進する除雪共助組織と外部人材を  
マッチングする仕組み（YUBO）の導入地域拡大のため、募  
集体制や安全対策強化、除雪講習会の開催費用の一部を補助  
補助対象経費の2/3、上限40万円

山古志地域だけでなく、小国・栃尾・川  
口地域にも拡大

#### ● 命綱固定アンカー活用ガイドブックの制作

命綱固定アンカーの認知度と必要性を広く普及するため冊子  
を作成し、アンカーの種類や命綱固定方法等を紹介





## 4. 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金事業の進捗状況

### ◎ 死傷事故の防止に向けた試行的取組（安全克雪事業）【令和5年度要望状況】

#### 【地域で行う除雪作業への支援】

##### ● 除雪共助組織活動への支援（令和4年度から拡充）

小型除雪機のほか、ハーネスや安全はしごなどの安全装備の購入もOKに。

##### ● 有償ブースター制度全市拡大（令和4年度から拡充）

YUBOの仕組みを市内全域に拡大

このほか、地域安全克雪方針策定事業で、共助組織や屋根雪下ろし事業者の実態調査を実施

## 4. 豪雪地帯安全確保緊急対策交付金事業の進捗状況

### ◎ 死傷事故の防止に向けた試行的取組（安全克雪事業）【令和5年度要望状況】

#### 【イノベーションによる除雪作業の安全を確保する仕組みづくりの支援】

##### ● 無人屋根雪除雪技術研究支援

人が屋根に登らなくても除雪可能な技術研究の経費を支援

このほか、地域安全克雪方針策定事業で、降雪前の屋根形状カルテデータベース化の実証事業を実施

##### ● 除雪事故防止啓発動画制作

屋根落下や除雪機の使用など作業上の注意を促す動画を制作

##### ● 除雪事故早期発見アプリ開発支援

携帯電話の加速度センサを活用し、事故時の早期発見に繋げるアプリの開発経費を支援

##### ● 除雪作業事故予報システム研究支援

過去の事故データと気象データに基づき、事故予報システムを構築する経費を支援

## 5. 取組上の課題や困っていること

### ◆今後の課題①

事故防止の観点では重要。でも現実にはアンカーがないと屋根に登れず、現実に見合った運用も重要。

### ◆今後の課題②

試行的取組（安全克雪事業）を実装させるには、自主財源では継続が困難。せつかく作った地域安全克雪方針に、実効力を持たせたい。

### ◆今後の課題③

そもそも雪下ろしをしたことがない（＝できない）人が多い。  
極端に言えば、野外実習と同じレベルで、長岡に住む若者には全員雪下ろしを経験してほしい。